

CG連の結成と活動

執筆者 CG連 太田 雅明

執筆日 2022年 11月11日

概要

この文書では、「CG連」の結成の経緯と、活動の歴史についてご説明します。

(1) はじめに

本資料を記述した太田はCG連の創設メンバーではなく、設立時の記載は伝聞と不確かな記憶に頼ったものである事を、予めご了承ください。

(2) 設立の経緯

1) 関東アニメーション研究会連合

CG連の設立は、関東アニメーション研究会連合と大きな繋がりがあります。

関東アニメーション研究会連合は、大学祭でしか作品の発表機会の無かった関東の各大学のアニメーション研究会が、アニメーション単独の上映会の開催と、各大学の交流を目的に、1981年に設立されました。略称はアニ研連です。

アニ研連が設立されると、上映会活動の他に、定例会や、定例会報の配布を通じて、各大学のアニメーションサークル同士の交流が盛んになっていきました。

2) CG連の結成

関東アニメーション研究会連合の設立によって、各大学のアニメーションサークル同士の交流が盛んになると、各大学のアニメーションサークル内で、孤立してCGの制作を行っていたメンバー達が、アニ研連を通じて知り合い、情報交換を行うようになりました。

当時のパーソナルコンピュータの性能では、リアルタイムで映像を再生する事は出来ず、コマ撮り撮影機材を所有するアニメーション研究会は、CGアニメーションに興味を持つ者が参加するのに自然な場所でした。

1984年頃、東京理科大学動画研究同好会の大竹氏を中心に、関東アニメーション研究会連合参加団体内でCGに興味を持っているメンバーを集めて、コンピューターグラフィックス研究会連合を設立しました。

CGアニメーションの個人製作はまだまだ一般的ではない時代、俺達が集まれば何か凄い事が出来るんじゃないか、そんな漠然とした思いからでした。

(3) 関東アニメーション研究会連合同自主上映会

1) 上映会でのメンバー募集

関東アニメーション研究会連合は、年に2回、6月と12月に合同自主上映会を行っていました。

1984年6月の第7回合同自主上映会か、12月の第8回合同自主上映会(共に会場は多摩美術大学)の上映会パンフレットに、CG連は広くメンバー募集を掲載しました。これによりアニ研連参加サークルに参加していない学生や社会人もCG連に参加しました。

結成時7～8名だったメンバーは15～16人に倍増しました。

2) CG連名義での作品制作

CG連は、メンバーが各々所属しているアニメーションサークルでのCG制作の他に、CG連名義での作品制作を始めました。

初めてのCG連名義での作品上映は、1984年12月の第8回合同自主上映会(多摩美術大学)か、1985年6月の第9回合同自主上映会(東京大学駒場キャンパス)でした。

2作目の上映はシャープ X68000が登場した1987年6月の第13回合同自主上映会(東大駒場キャンパス)になります。X68000が登場したおかげで、3作目、4作目、5作目と、合同自主上映会の度に作品を上映できる様になりました。

3) CG連内の交流

CG連は、メンバー間の交流を図る為、毎週日曜日に新宿駅紀伊国屋の地下にあるカトレアという喫茶店で集会を行いました。

集会の他にコミックマーケットやパソケット等に参加し、普段集会に来られないメンバーとの交流を行いました。

また、日本SF大会という全国規模の大会に参加する事で、普段アニ研連の合同自主上映会に来られない関東以外の方々との交流を深め、大阪の鎌田優さん、森山弘樹さん達と知り合う事が出来ました。

(4) 日本SF大会日本CG大会

◇ CG連が主催した上映会

CG連はSFの全国的大会である日本SF大会に参加しました。1987年石川県でのURACON'87です。そこでCG連が主催して大会内企画「第1回日本CG大会」を開催しました。

日本SF大会を通じて、関東アニメーション研究会連合に属していない団体の作品を集める事ができ、知見と交流を深めることが出来ました。SF大会の企画としても、朝まで企画部屋が観客で埋まり、大成功でした。

日本CG大会は1988年群馬県でのMiG-CONにて第2回、1989年愛知県でのDAINA☆CON EXにて第3回を行いました。

(5) 終わりに

CG連を作られた大竹氏、CG連に参加された皆さん、CG連にかかわってこられた全ての皆さんに感謝申し上げます。どうもありがとうございました。

また、新海誠さんの成功にCG連が少しでもかかわれた事は大変嬉しかったです。そのエピソードの紹介は鎌田さんにおまかせします。

DoGAも、2回ほど、CG連のメンバー(あるいはゲスト?)として、アニ研連の上映会に参加させて頂いたことがあります。そして、CGアニメコンテストの入選作を何本か上映しました。

2000年ごろ、第12回CGアニメコンテストで、新海さんがグランプリを受賞した翌年ぐらいに、「彼女と彼女の猫」を上映したのを覚えています。拍手など、反応はかなり良かったです。

その客席に、コミックス・ウェーブ(現コミックス・ウェーブ・フィルム)のHさんがいらっしゃいました。「彼女の猫」に大変感銘を受けたとのことで、新海さんをスカウトします。

その結果生まれた作品が、「ほしのこえ」。新海監督の商業デビュー作です。

その後、皆さんもご存じの通り、「君の名は。」や「すずめの戸締まり」など、新海監督は、コミックス・ウェーブ・フィルムで、大ヒット作を次々と発表します。

CG連の活動が無ければ、コミックス・ウェーブ・フィルムとの出会いも無くなり、そういった作品が生まれなかった平行世界もあったかもしれません。